

いーぶん

素敵なパートナーになるために



特集

男性の家庭参加

令和元年の愛知県「男女共同参画社会の実現に向けて〔調査報告書〕」では、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に賛成（または、どちらかといえば賛成）と回答した割合は40.7%という結果となり、まだまだ固定的な役割意識を持たれている方が多いことが分かりました。

今年10月施行の新しい育児・介護休業法では、育児休業の柔軟な取得が可能になります。これを機に、お父さんの家庭参加について、考えてみませんか？

お父さん、家事・育児に参加してますか？

これを読んでいるお父さん、家事や育児に参加していますか？

お母さんに任せっきりになっていませんか？

ドキッとされたお父さん、もしかしたら家庭の危機かもしれませんよ！？

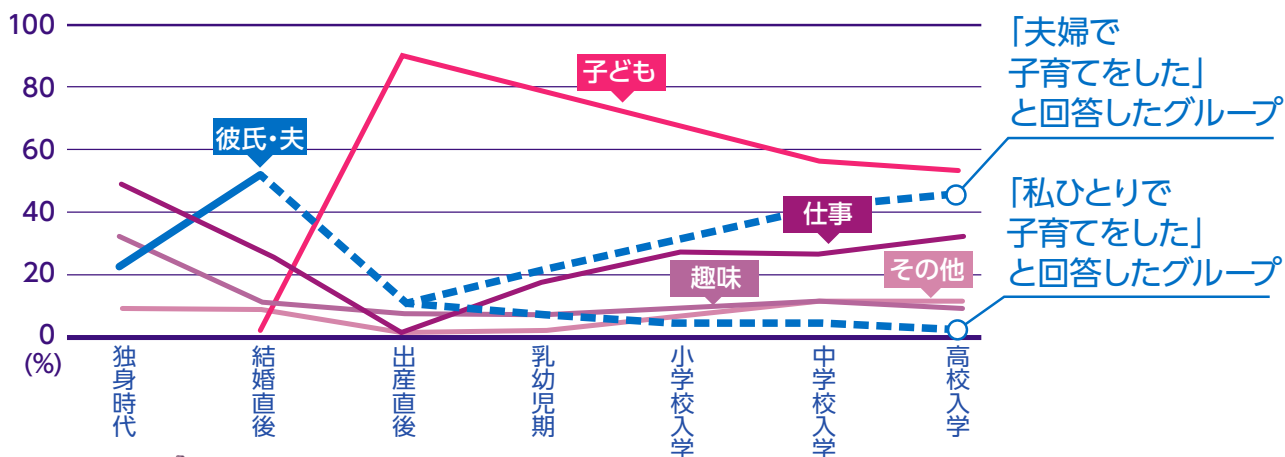
女性の愛情曲線

(出典) 東し経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長 渥美由喜著「夫婦の愛情曲線の返還」

このグラフは女性たちのライフステージごとの愛情変化を調査したものです。

青の線を見ると、結婚直後まで上昇していた夫への愛情が出産を機に急降下しています。

その後、回復するグループと低迷を続けるグループに分かれます。



●「夫婦で子育てをした」お母さんのコメント

- ・子どもと散歩したり遊んだりしてくれるので、自分の時間が作れる！
- ・子どもと一緒に掃除をしてくれ、子どもも楽しそうで家もきれいになって助かる！
- ・家事も育児もしてくれるので、安心して仕事に行くことができる！

●「私ひとりで子育てをした」お母さんのコメント

- ・家事や育児に追われているのに夫はマイペースで、徐々に期待もしなくなっちゃう…
- ・子どもの一番手がかかる時期に仕事から帰ってから一人で家事・育児をしていました。夫は頼れず、むしろ洗濯物や食事と、私の仕事を増やす敵…



つまり、夫婦仲の面からも、結婚直後から乳幼児期はお父さんの家事・育児への参加が大事な時期なんです！！



でも、家においても普段から家事・育児をやっていないので何をすればいいかわからない…

それなら、まずはどのような家事・育児があるのか、気付くことから始めませんか？

Step1 見える化

家事・育児の項目をできるだけ細かく書き出して、「見える」ようにしてください (例えば洗濯であれば、洗う、干す、たたむ、しまう)。

Step2 家事・育児を共有

Step1の内容を元に、得意・不得意を考えながら、相手が「こうしてもらえると本当に助かる」ことを夫婦で話し合ってみましょう。



そして、令和4年10月から、育児休業の制度が大きく変わります！！

育児休業に関する改正ポイント



産後パパ育休が新設!

育児休業とは別に、子の出生後8週間以内に4週間まで取得可能。

従業員が合意した範囲で休業中に就業することが可能。*労使協定を締結している場合



原則、子が1歳になるまで取得できる育児休業が、
1回から2回に分割して取得できるように!



1歳以降、延長して取得する場合も、**育休開始日は柔軟化!**
特別な事情がある場合は**再取得も可能に!**



法律が変わっても、仕事が忙しいので
やっぱり育休が取れるか不安...

男性の家庭参加は上司や同僚のサポートが不可欠?!

職場の方へ

まずはじめに知っていただきたいことは、**男性でも11%の方が、「産後うつ」になるリスク**があるとされていることです(*1)。

自分の中にある「あらねばならぬ父親像」とのギャップで苦しむ人や、育児があるけど「今まで通りの仕事をしないと」というプレッシャーが要因の一つとされています。

しかし、自ら援助を求めない男性が多く、顕在化せずに進行することが多いです。子育てしながら以前と同じペースで仕事をしようというのは大変難しいです! そのため、業務量を減らしてあげたり、家庭の事情に合った柔軟な働き方(テレワークなど)を勧めてあげるなど、**上司や同僚のサポートが必要**です!!



●部下が男性育休を取得した上司のコメント

育児や介護だけでなく、ケガや病気による入院など、いつ何時、自分がサポートを受ける側に回るかわかりません。業務の手順を他人が見てもわかるようにするなど、「お互い様」でサポートしあえる環境を作っていきたいと考えています。

ちなみに、育休を取得した男性が同僚や兄弟にいた人たちは、そうでない人たちより育休取得率が**11~15%も上昇**し、さらに、上司が育休を活用した人たちは、同僚が取得した人たちよりも、**2.5倍も多く育休を取得**するというデータがあります(*2)。

上司の皆さんは、部下の家庭参加、ライフワークバランス推進のためにも、職場の環境づくりを進めてみませんか?



*1: Cameron EE, Sedov ID, Tomfohr-Madsen LM. Prevalence of paternal depression in pregnancy and the postpartum: An updated meta-analysis. J Affect Disord. 2016 Dec;206:189-203.

*2: 1995年ノルウェー政府白書

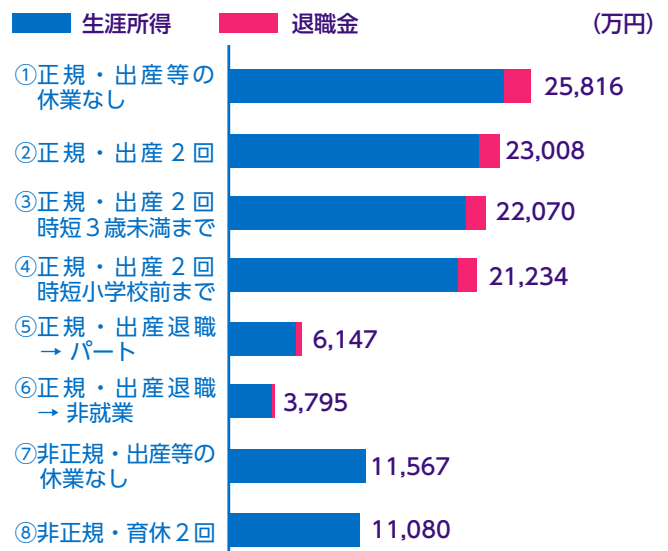
家計にとってもお父さんの家庭参加は大事？！

右のデータにあるように、女性が出産後に退職し、パートやアルバイトをしている人に比べて、育休後に復職した人の方が、生涯所得が1.5億円以上違うと言われています。

しかし、お母さんに家事も育児も任せっきりで、さらに正規で仕事となると、お母さんの負担はかなり大きい！

お母さんが気持ちよく仕事をして、世帯収入を増やすために、お母さんの負担を減らすには？
そう、つまりお父さんの家庭参加です！

女性の働き方ケース別生涯所得



(出典) ニッセイ基礎研究所 生活研究部上席研究員久我尚子著「大卒女子、育休2回で生涯所得2億円!? 女性が働きやすい環境を作る重要性」

DV(ドメスティック・バイオレンス)の相談窓口～ひとりで悩まないで～

配偶者や恋人等からの暴力(DV)で悩んでいませんか？ひとりで悩まず、まずご相談ください。身体的暴力のみならず、精神的・性的暴力もDVにあたります。

●全国共通の短縮ダイヤル

発信地等の情報から、最寄りの相談機関に電話がつながります。

DV相談(相談機関:配偶者暴力相談支援センター) #8008 (はれれば)

性暴力被害相談(相談機関:ワンストップ支援センター) #8891 (はやくワンストップ)

●DV相談+(プラス)

電話とメールは24時間対応です。外国語にも対応しています。

スマートフォンからは右の二次元コードよりご利用ください。

電話:0120-279-889 (つなぐ はやく)



●一宮市女性悩みごと相談

相談場所:子ども家庭相談課(本庁舎4階)

相談時間:月~金 10:00~12:00、13:00~16:30、祝日・年末年始は休み

先着受付順

電話:0586-28-9149

『いーぶん』は『男女共同参画』に関する様々な情報や話題を皆さんに提供する情報紙です。

『いーぶん』という名称には、男女の平等『EVEN』とみんなの『言い分』という意味が込められています。

編集協力者/岡西 美子、吉田 和江、伊藤 孝司、岩田 宏美 編集・イラスト協力者/後藤 明美

編集・発行/一宮市総合政策部政策課

〒491-8501 一宮市本町2-5-6 TEL 0586-28-8952 FAX 0586-73-9128

Eメール seisaku@city.ichinomiya.lg.jp ウェブサイト <https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/>

*政策課のウェブサイト(ページID 1011667)では、『いーぶん』のバックナンバーがご覧いただけます。

*『いーぶん』は市内公共施設で配布しています。配布場所については政策課にお問い合わせください。